|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ５　展開(板書計画)　　　　　　　　　　ねらい：正しい写真を選ぶ活動を通して、各段落のこまの特徴を読み取ることができる。それぞれの段落に「つくり」と「回し方」が説明されていることが分かる。 | | |
| 評価①正しいこまの写真をえらび、それぞれのこまの特徴を読み取ることができる。  評価②グループ活動を行うことで、ヒントを得たり、自分の考えに自信をもったりすることができる。 |  | ６／２８　「こまを楽しむ」  課題  　正しいこまのしゃしんは、どれでしょうか。  めあて  「中」の文をよく読んで、しょうこを見つけよう。    ○見つけたしょうこに、赤と青で線を引こう。  　・赤・・・つくり  　・青・・・回る様子・回し方  まとめ  「中」の文にはしょうこがあった。  こまの「つくり」と「回る様子・回し方」の二つのしょうこがある。  ▽筆者のくわしくせつめいするための工夫。  ふり返り |
|  | ・予想される反応　○発問  【つかむ段階】  課題：正しいこまのしゃしんはどれですか。  　・本文を読まないと分からないな。  ○２段落から７段落を音読して、写真を選びましょう。  ・写真をえらんだぞ。  【考えをもつ段階】  　めあて：「中」の文をよく読んで、しょうこを見つけよう。  **※全体の学び合い**(２段落・３段落)  ○どうして色がわりごまだと分かりますか。  　２段落のどこに、書いてありますか。  ・「こまの表面には、模様が描かれています。」  ・「ひねって回すと、もように使われている色がまざり合い、元の色とちがう色に変わるのがとくちょうです。」。  ・「同じこまでも、回すはやさによって、見える色がかわってきます。」  ※証拠に赤と青で線を引かせる。  ※３段落も同様に進める。  ・赤と青の線は何だろう。  ○見つけた証拠を赤と青の線で分けて引いていますが、違いが分かりますか。  ・赤は「つくり」、青は「回る様子・回り方」だ。  ○４段落にある「さか立ちごま」の証拠に、同じように線を引きましょう。**※個人**  ・この段落にも赤と青の線を引くところがありそうだ。  【考えを深める・広げる段階】  ○グループで５段落から７段落から、こまを一つ選んで、証拠を見付けましょう。  ※活動の流れを提示する。  **※個人で考える**  ・どこに線を引けばいいか、迷うな。  ・証拠を見付けて線が引けた。  **※グループ活動**  ○どこに何色の線を引いたか話し合おう。  ・同じだ。これが証拠で間違いない。  ・あれ、私と違うな。どうしてだろう。  ・なるほど、そこに線を引くのか。  **※全体で確かめ**  ○それぞれの班の考えを順番に伝え合いましょう。  ※各班代表一人が発表する。  ・やっぱりどの段落にも赤と青の線がある。  【まとめの段階】  　 ○「中」の文に証拠は見付けられましたか。  　　・はい。  　　○何が証拠になりましたか。  ・「つくり」と「回る様子・回し方」  　まとめ：「中」の文には、しょうこがあった。  こまの「つくり」と「回る様子・回し方」の二つのしょうこがある。 |